

年度 2008 学期 後期	曜日・校時	火2 木2・3	必修選択	必修	単位数	1
授業科目/(英語名)	韓国語Ⅳ KOREANⅣ					
対象年次	2年次	講義形態	演習	教室		
対象学生(クラス等)	全学部		科目分類	外国語科目(韓国語)		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 劉卿美 (ゆう・きょんみ) /Eメールアドレス: you-kiss@net.nagasaki-u.ac.jp/ 研究室: 全学教育事務室 2 階/TEL:(直通)095-819-2081 /オフィスアワー:月～金、昼休み						
担当教員(オムニバス科目等)						
授業のねらい/授業方法 (学習指導法) /授業到達目標 (500 文字) 授業のねらい: 韓国語Ⅰ～Ⅲで学んだ韓国語の能力にさらに磨きをかけます。韓国語文の基本しくみ〈語幹+表現形+語尾〉に基づきながら、日常生活に使う表現形をさらに増やし、より豊かで自然な表現ができるようにしましょう。 授業方法: 毎回の授業では授業の目標を達成するために、必要不可欠な文法事項を覚えていきます。授業では毎回課題が出されます。授業で習った文法事項を確実に身につけるために、出された課題をもって復習を行ってください。授業中はできるだけ多く口頭による発音練習を行います。テキストに付いている CD を通してさらに発音練習を行ってください。 授業到達目標: 日常生活に使う表現形をさらに増やし、より豊かで自然な表現ができるようにしましょう。						
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) (1300 文字) 授業内容(概要) 授業内容(概要) 毎回の授業ではまず、単語を 20 個ずつ覚えていきます。そして韓国ドラマのスキットの聞き取りをします。プリントで内容を確認。毎回2つずつ新しい表現をピックアップし、練習します。スキットの発音を練習。最後にもう一度聞き取りを行い、どれくらい聞き取れるようになったかを確認します。初級テキストの会話文(第 17 課～第 20 課)の練習。1 課につき、2回の授業(1 回目の授業で発音の確認と練習→CD を通して自学→2 回目の授業で指名し、ロールプレイ)。最後に課題の確認と回収をします。						
回数	日時		内容			
1	9/30	10/2	おさらい			
2	10/7	10/9	ドラマ(1) 第 17 課			
3	10/14	10/16	ドラマ(1)			
4	10/21	10/23	ドラマ(2) 第 18 課			
5	10/28	10/30	ドラマ(2)			
6	11/4	11/6	ドラマ(3) 第 19 課			
7	11/18	11/13	ドラマ(3)			
8	11/25	11/20	韓国事情 第 20 課			
9	12/2	11/27	ドラマ(4)			
10	12/9	12/4	ドラマ(4)			
11	12/16	12/11	ドラマ(5)			
12	1/13	12/18	ドラマ(5)			
13	1/20	1/8	ドラマ(6)			
14	2/3	1/15	ドラマ(6) *この以降、宿題の回収はしません。			
15	2/10	2/5	総括(最終試験)			
キーワード						
教科書・教材・参考書	毎回プリントを配ります。プリントは紛失したり混ざったりしないように心がけてください。また韓国語ⅠとⅡで使ったテキストとプリントは、韓国語Ⅲ・Ⅳを通して使います。					
成績評価の方法・基準等	課題 20 % (4 段階評価。遅れて提出した場合は減点されます) 単語テスト 20% (10 点満点、3 回) 授業への取り組み方 (授業への参加状況、授業態度など) 10% 最終試験 50%で、総合的に評価します。					
受講要件(履修条件)						
本科目の位置づけ /学習・教育目標						
備考(準備学習等)						